

暮らしの中の性別役割分担の 実態と意識調査 ＜概要版＞

2021年11月

豊岡市役所総務部ジェンダーギャップ対策室

(受託者: 株式会社Will Lab)

調査概要

1. 調査目的 市民の暮らしの中における家事・育児や介護、社会活動に関する分担の実態と意識を把握し、ジェンダーギャップ解消に向けた施策の参考とする。
2. 調査地域 豊岡市全域
3. 調査方法 WEBシステムを利用したインターネット調査
4. 回答数 回収635、うち有効626（紙回答分のうち、未回答を含む9回答を除く）
5. 調査時期 2021年7月20日～2021年8月10日
6. 回収結果

	年齢								
	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
	626	18	53	147	177	130	62	39	
男性	283	2	20	50	81	75	38	17	
女性	339	14	33	96	96	54	24	22	
その他	4	2	0	1	0	1	0	0	

	地域						
	全体	豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域
	626	338	21	40	121	70	36
男性	283	148	10	19	55	32	19
女性	339	186	11	21	66	38	17
その他	4	4	0	0	0	0	0

	同居家族								
	全体	一人暮らし	夫婦のみ	夫婦・子のみ	三世帯世帯	父母兄弟	夫婦 父母・義父母	自分・子のみ	子・親
	626	48	88	220	113	82	33	15	27
男性	283	20	46	90	55	36	24	4	8
女性	339	25	42	130	58	46	9	11	18
その他	4	3	0	0	0	0	0	0	1

※その他：性別の選択肢「男性・女性・その他」のうち、「その他」を選択した人
本調査で性別比較をする際は、サンプル数の少なさから「その他」を比較対象としていない（但し、全体集計を含む）

【調査結果に対する有識者のコメント】

(株)東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部 チーフコンサルタント
NPO法人ファザリング・ジャパン理事
塚越 学氏

ジェンダーギャップ解消に向け、暮らしの中における豊岡市の男女の現状を数字で見える化した意義は大きい。

今回の調査により、育児や家事の時間は男性の2倍以上、女性が行っていることが分かったが、この分担状況を4割以上の男性が「適当だと思う」と回答している一方、女性は2割強となっていることなどから、男性は育児家事の多くを女性が担う現状を容認する傾向が強いことがわかる。

しかし、そのような分担となっている理由(P4、6)は「特に決めたわけではないがなんとなく」、「夫が忙しいから」のスコアが高くなっており、夫婦の話し合いで決めたわけではないところに大きな課題があるだろう。

また、地域の行事や会合(P18)においては、男性の世帯主が担っている傾向が強いが、その原因(P19)は、「社会的な生き残りや習わし」「性別によって役割が違うという思い込み」が上位を占めており、ここでも地域メンバー同士の話し合いより思い込みで言動している傾向が強そうだ。

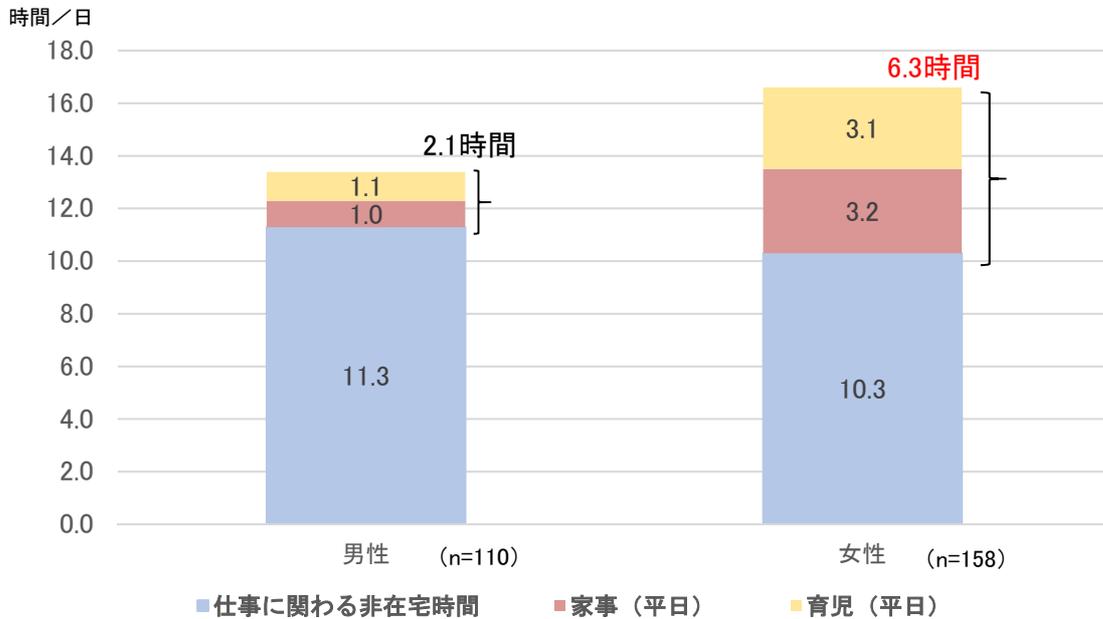
一方、固定的な性別役割分担をなくす必要があると8割が回答していることから、この調査結果をスタートとして、今後、市民・地域、行政、企業・団体がジェンダーギャップ解消に向けて対話を増やし、取り組みを続けることで、数値を改善させ、豊岡市の暮らしの中で見える景色がより良い形に変わっていくことを期待したい。

1 子育て世代の家事・育児の実態

男女の家事・育児時間

●子育て世代の男女の家事・育児関連時間(対象:高校生までの子どもを持ち、働いている人)

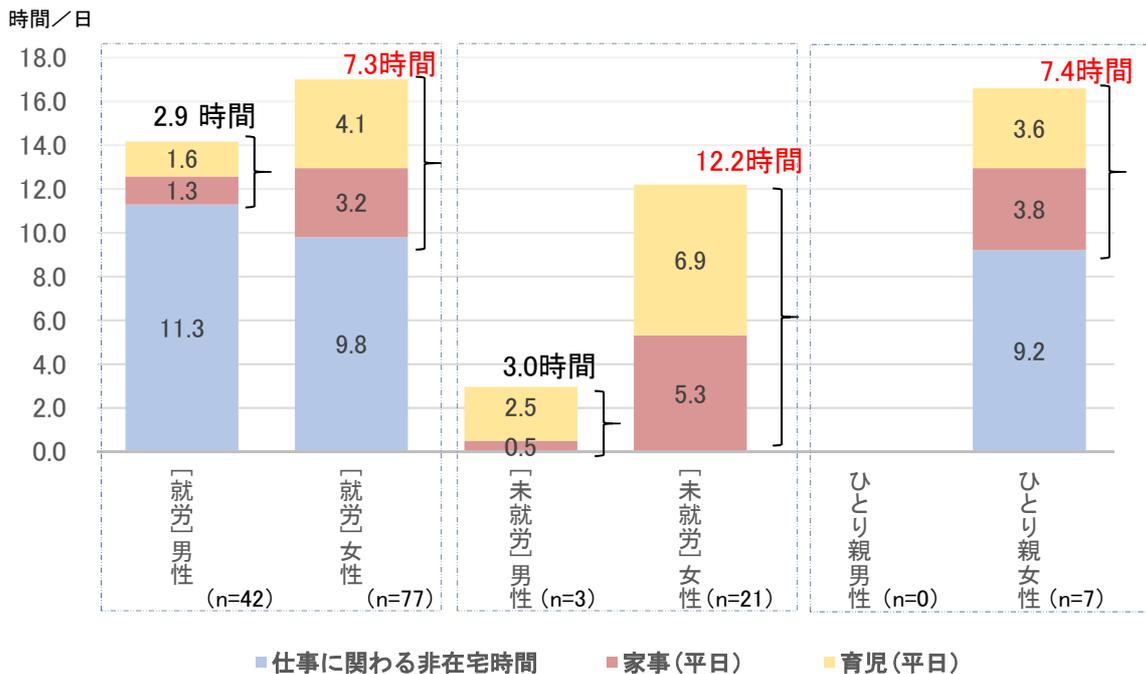
高校生までの子どもを持ち、働いている人の家事・育児関連時間は、女性が6.3時間と、男性の2.1時間と比較し4.2時間長く、**約3倍**の差がある。



※仕事に関わる非在宅時間:「家につく時間」から「家を出る時間」をひいて算出する。時間が不明な方は除く。

●子育て世代の男女の家事・育児関連時間(対象:未就学児を持つ人)

未就学児を持ち、働く女性は家事3.2時間、育児4.1時間、合計7.3時間と、同じく未就学児を持ち働く男性の家事1.3時間、育児1.6時間、合計2.9時間と比較し、4.4時間長く、**その差は約2.5倍**である。また、働いていない女性の家事・育児関連時間は12.2時間、ひとり親女性は7.4時間となっている。



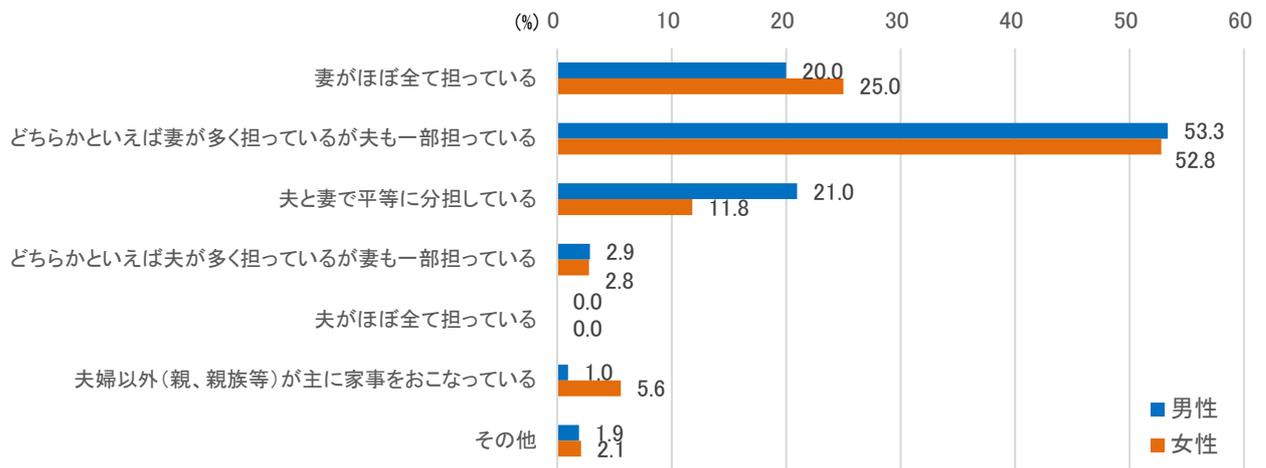
1 子育て世代の家事・育児の実態

家事分担の現状とその理由／男女の認識にギャップ

(対象: 高校生までの子を持ち働いている人)

●家事分担の状況

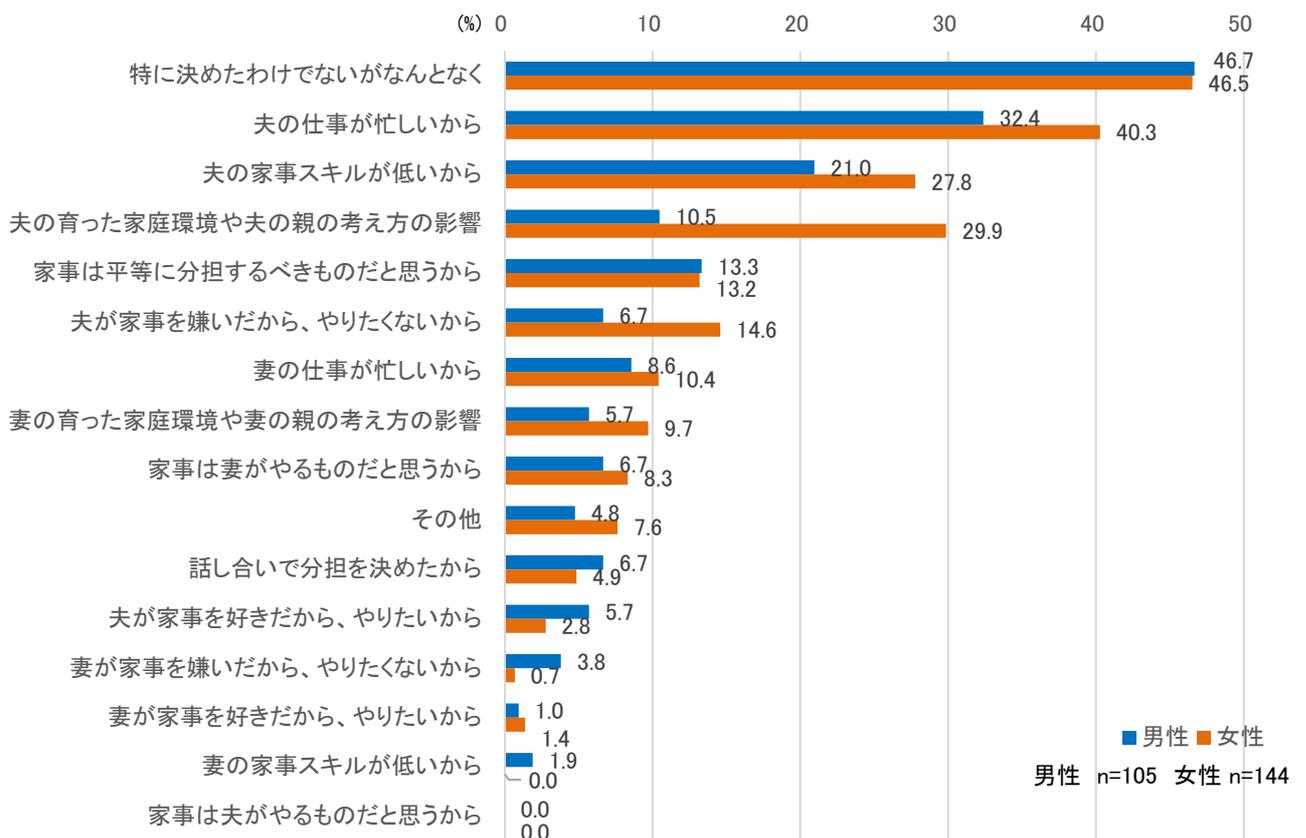
男女ともに「どちらかといえば妻が多く担っているが夫も一部担っている」が最も高く、次いで「妻がほぼ全て担っている」「夫と妻で平等に分担している」の順である。なお、「平等に分担している」と回答している男性が21%に対し、女性は12%と認識に差が見られる。



男性 n=105 女性 n=144

●その分担となった理由

男女ともに「特に決めたわけでないがなんとなく」が最も高い。「夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響」と回答している女性が30%に対し、男性は11%と認識に差が見られる。



男性 n=105 女性 n=144

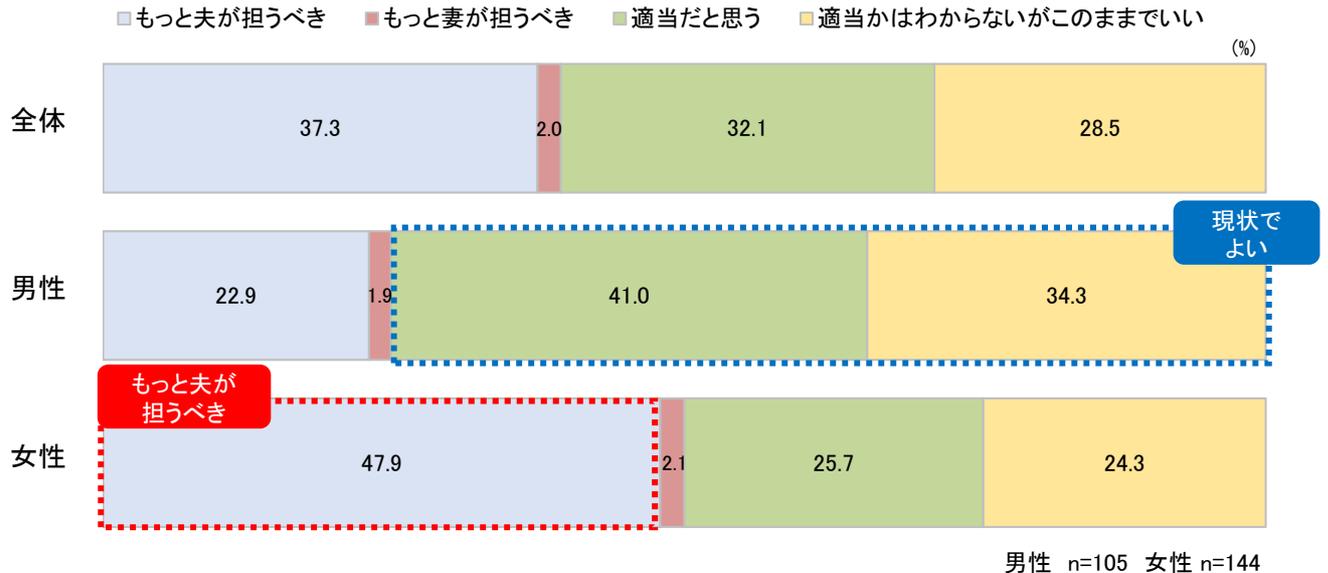
1 子育て世代の家事・育児の実態

家事分担の理想

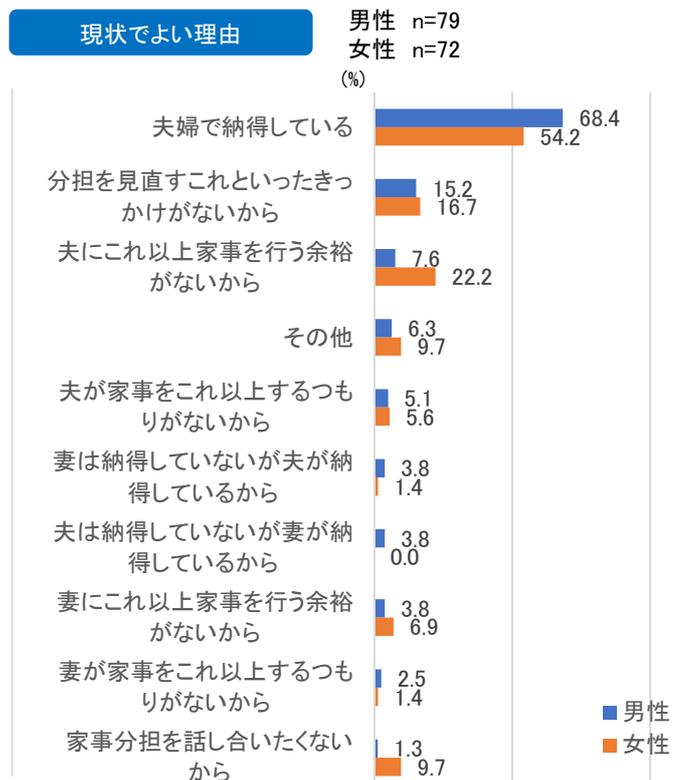
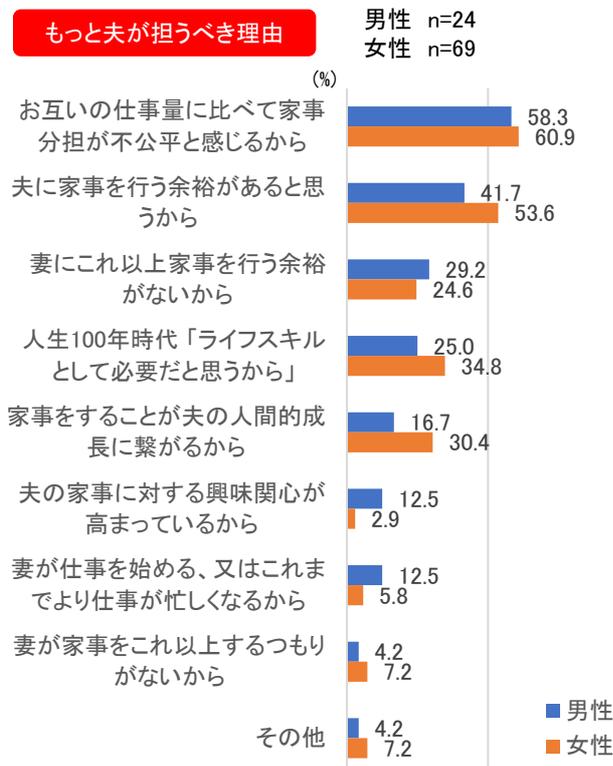
(対象: 高校生までの子を持ち働いている人)

●家事分担の理想

家事について「**もっと夫が担うべき**」と考える人は女性が48%いるのに対し、男性は「**適当だと思う**」(41%)、「**適当かわからないがこのままでいい**」(34%)を合わせて**75%が現状でよい**と考えている。



●「家事分担の理想」の理由



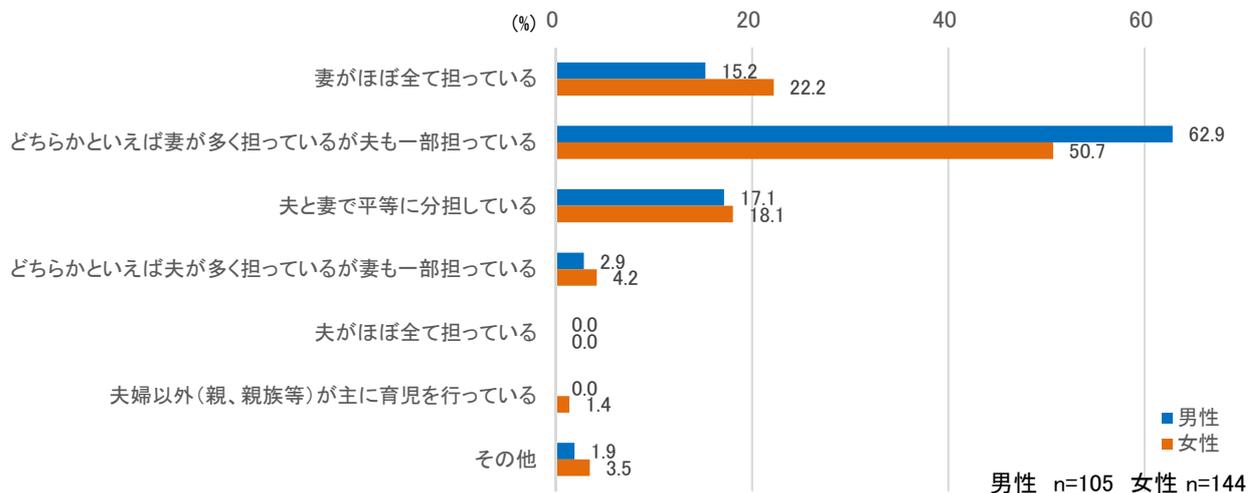
1 子育て世代の家事・育児の実態

育児分担の現状とその理由／男女の認識にギャップ

(対象: 高校生までの子を持ち働いている人)

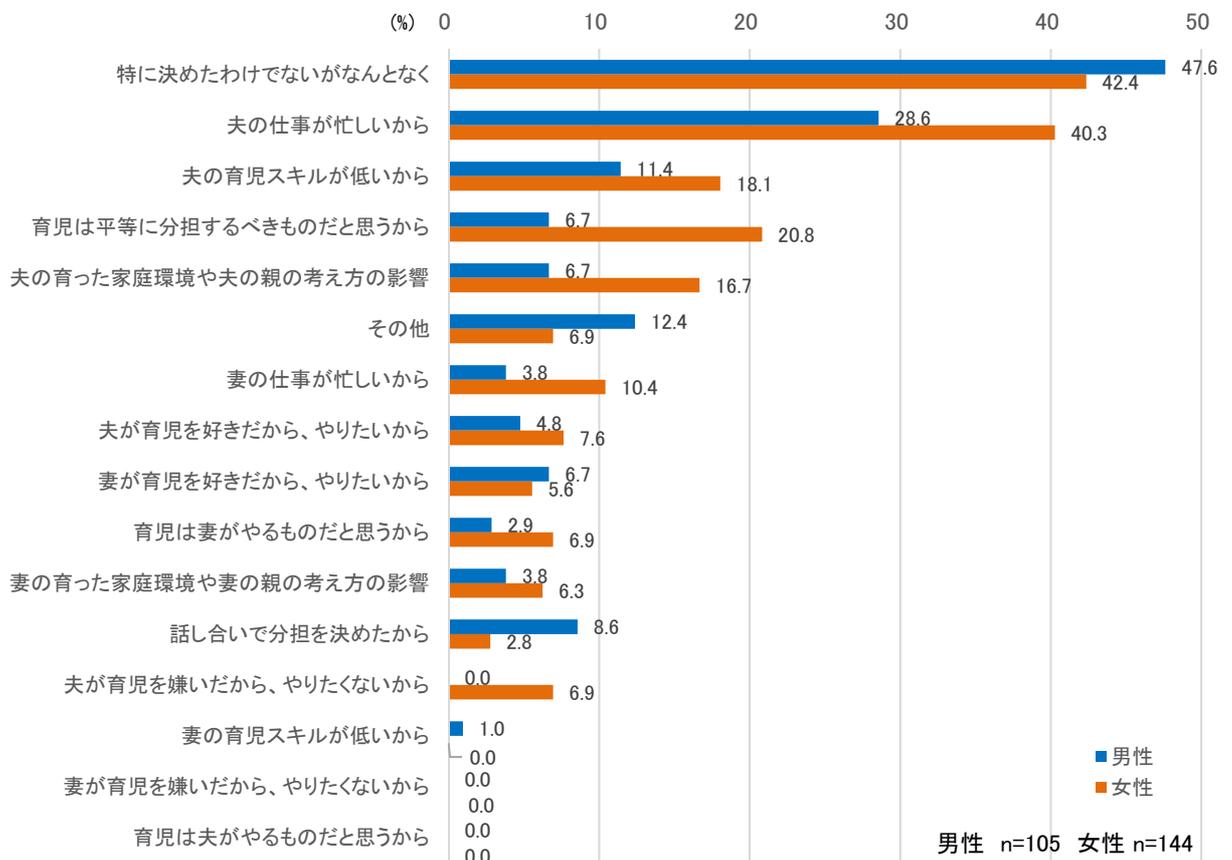
● 育児分担の状況

男女ともに「どちらかといえば妻が多く担っているが夫も一部担っている」が最も高いが、男女で10ポイント超の差が見られる。



● その分担となった理由

男女ともに理由は、「特に決めたわけでないがなんとなく」が最も高く、次いで「夫の仕事が忙しいから」が高い。「夫の仕事が忙しいから」「育児は平等に分担するべきものだと思うから」「夫の育った家庭環境や夫の親の考え方の影響」で、男女の認識に差が見られる。



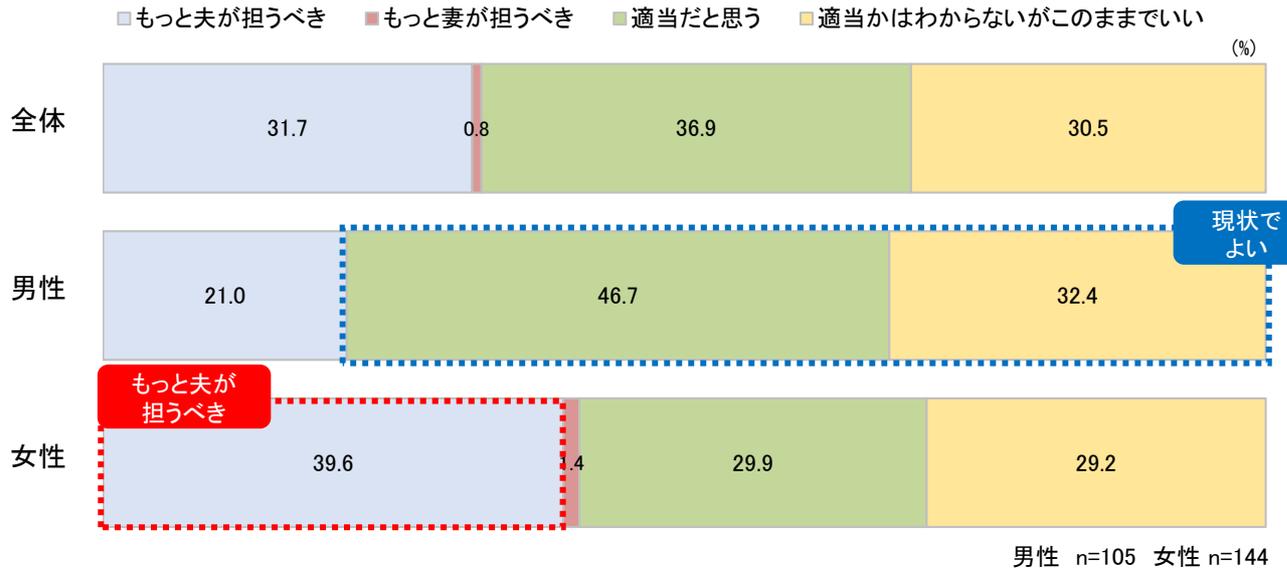
1 子育て世代の家事・育児の実態

育児分担の理想

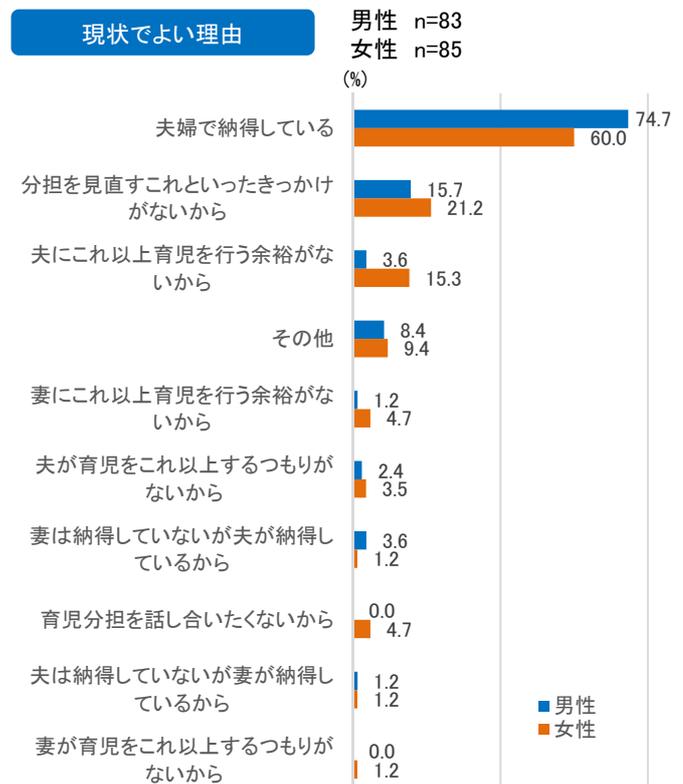
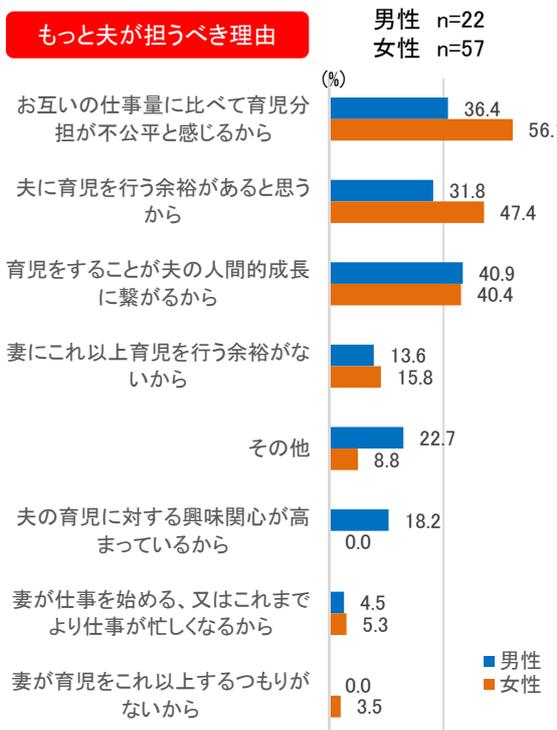
(対象: 高校生までの子を持ち働いている人)

●育児分担の理想

育児については、「もっと夫が担うべき」と考える人が女性40%に対し、男性は「適当だと思う(47%)」、「適当かわからないがこのままでいい」(32%)を合わせて79%が現状でよいと考えている。



●「育児分担の理想」の理由



1 子育て世代の家事・育児の実態

出産・育児と働き方／「男性育休」の取得状況

(対象: 高校生までの子を持ち働いている人)

● 出産・育児による働き方への影響

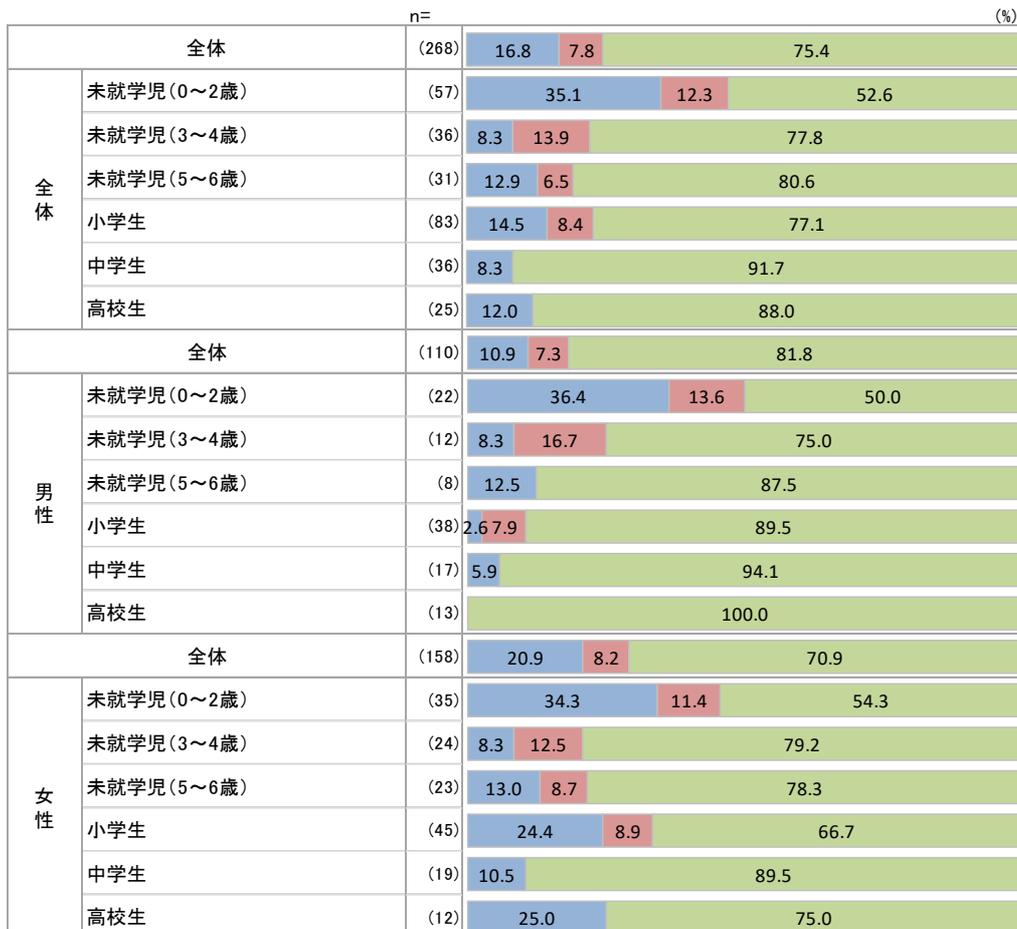
出産・育児により、**男性の8割が仕事に特に影響を受けていない**のに対し、女性は出産・育児を機に仕事を辞めた(31%)、勤務時間を短くした(20%)、雇用形態を変更した(5%)と、**約6割が何らかの影響を受けている**。



● 男性育休の取得状況

「あなたが同居している最も年齢が低いお子様について、【男性】あなた(【女性】あなたの夫)は、育児休業等を取られましたか(していますか)」との問いに対し、希望期間通りに取得した人は17%にとどまっているが、子の年齢が若いほど取得率が上がっている。

- 育休を希望しており、希望期間通り(または希望以上)に取得した
- 育休を希望していたが、育休を取得しなかった(または希望よりも取得した期間が短い)
- 育休を希望しておらず、育休を取得しなかった



※本調査における育休

法定の育児休業制度に加えて、子どもや妻のサポートを目的とした、有給休暇・特別休暇含む、個人事業主や経営者などが育児のために自主的に仕事を休む場合も含まれます。

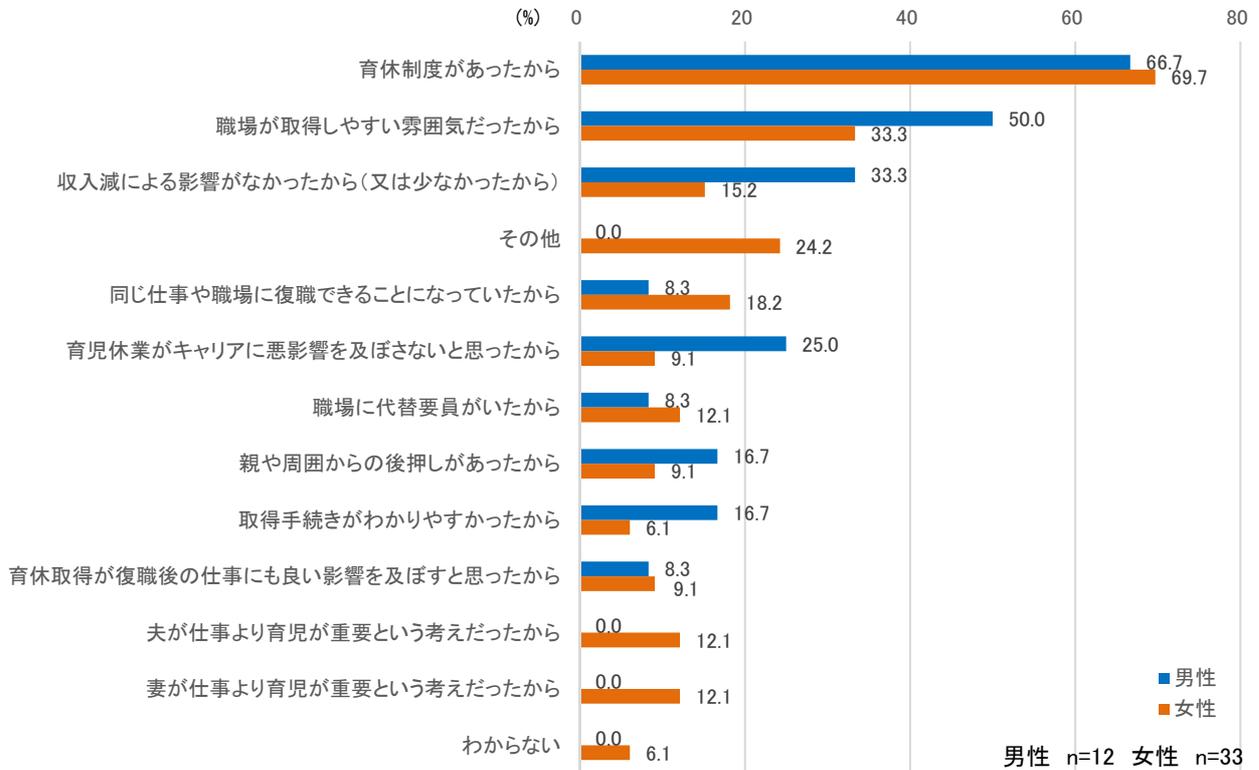
1 子育て世代の家事・育児の実態

「男性育休」の取得状況とその理由

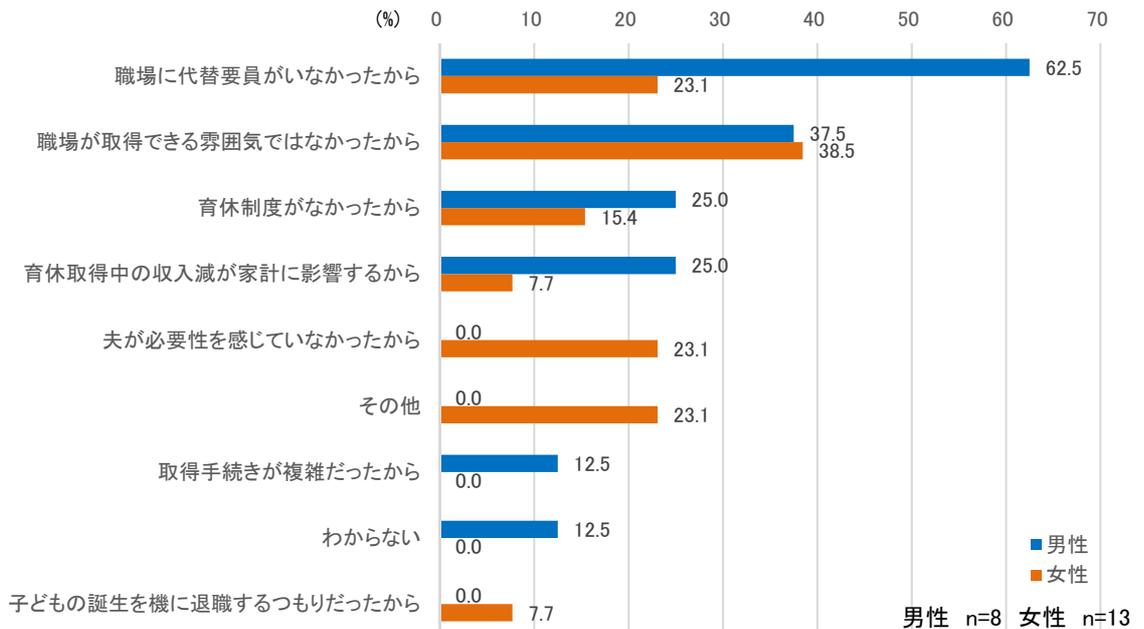
(対象: 高校生までの子を持ち働いている人)

●「男性育休」を取得できた理由／できなかった理由

男性(男性本人／女性の夫)が育休を取得できた理由



男性(本人／女性の夫)が育休を取得できなかった理由



1 子育て世代の家事・育児の実態

男性の家事・育児参画について

(対象:全体)

●豊岡市における男性の家事・育児参画について

「まだまだ不十分でありもっと進めていく必要がある」が53%と最も高い。

特に、「30代」(59%)・「60代」(60%)で高く、男女では、男性(43%)・女性(61%)と、女性の方がより必要性を感じている。

豊岡市における男性の家事・育児参画についてあなたの考えにいちばん近いものをお答えください。

- 十分進んでおり現状以上に男性の家事・育児参画を進める必要はない
- それなりに進んでいるがより進めていく必要がある
- まだまだ不十分でありもっと進めていく必要がある
- わからない・特に考えたことはない

		n=	(%)			
全体		(626)	3.5	20.1	52.6	23.8
全体	10代	(18)		11.1	27.8	61.1
	20代	(53)	1.9	17.0	54.7	26.4
	30代	(147)	4.8	19.0	58.5	17.7
	40代	(177)	5.1	17.5	55.4	22.0
	50代	(130)	2.3	27.7	46.2	23.8
	60代	(62)	1.6	14.5	59.7	24.2
	70代以上	(39)	2.6	28.2	35.9	33.3
全体		(283)	5.3	26.1	43.1	25.4
男性	10代	(2)			50.0	50.0
	20代	(20)	5.0	25.0	40.0	30.0
	30代	(50)	6.0	28.0	40.0	26.0
	40代	(81)	8.6	25.9	39.5	25.9
	50代	(75)	4.0	28.0	44.0	24.0
	60代	(38)		15.8	57.9	26.3
	70代以上	(17)	5.9	41.2	35.3	17.6
全体		(339)	2.1	15.0	60.5	22.4
女性	10代	(14)	7.1		28.6	64.3
	20代	(33)		12.1	63.6	24.2
	30代	(96)	4.2	14.6	67.7	13.5
	40代	(96)	2.1	10.4	68.8	18.8
	50代	(54)		27.8	48.1	24.1
	60代	(24)	4.2	12.5	62.5	20.8
	70代以上	(22)		18.2	36.4	45.5

2 性別役割分担意識

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきか(男女／年代別)

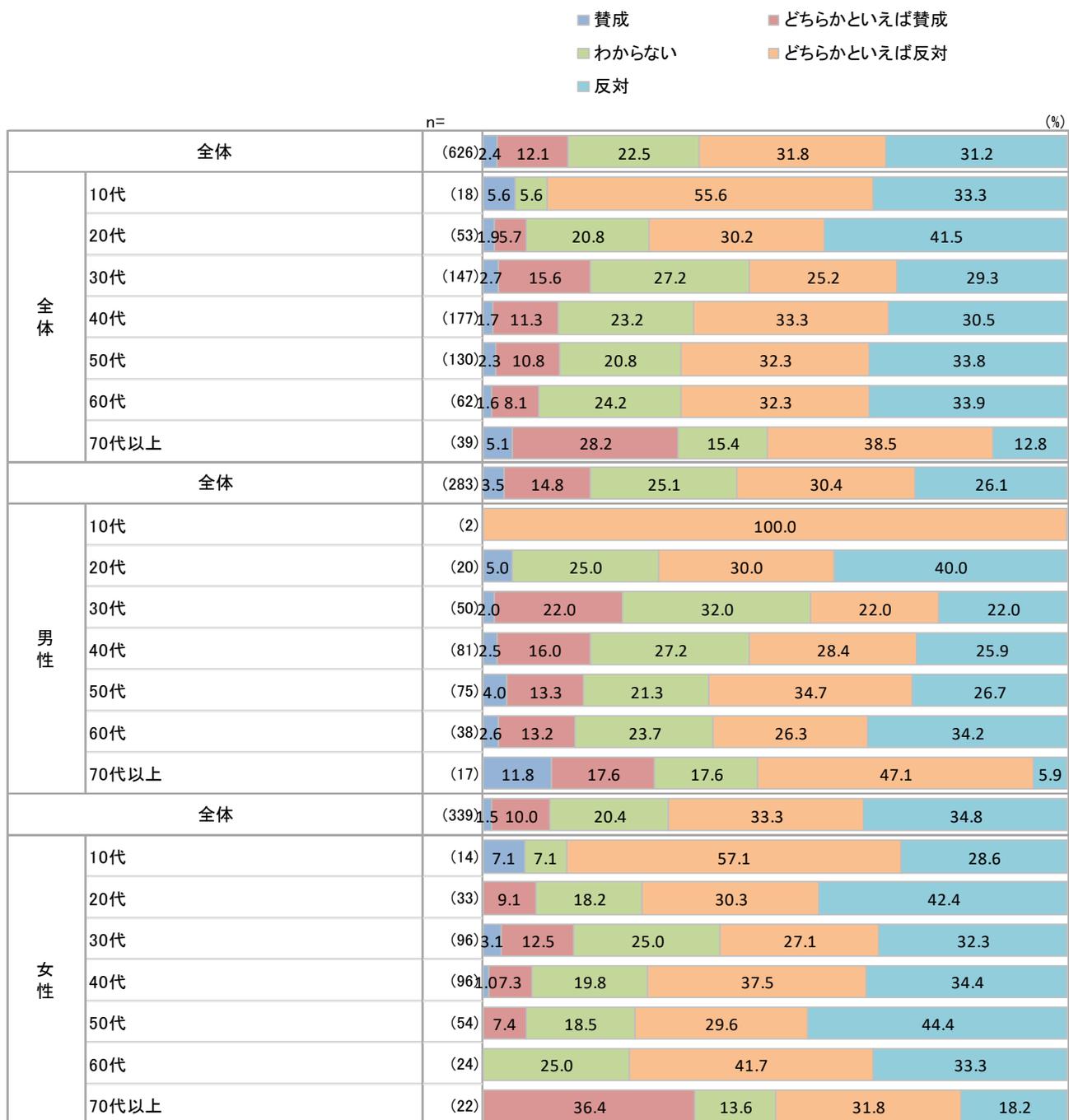
(対象:全体)

●「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について

全体で63%が反対(「反対」(31%)「どちらかといえば反対」(32%))

うち男性は57%、女性68%で女性のほうが反対だと考える人が多い。年代別では、反対と考える人が20代で72%、70代以上では51%。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について、あなたの考えをお答えください。



2 性別役割分担意識

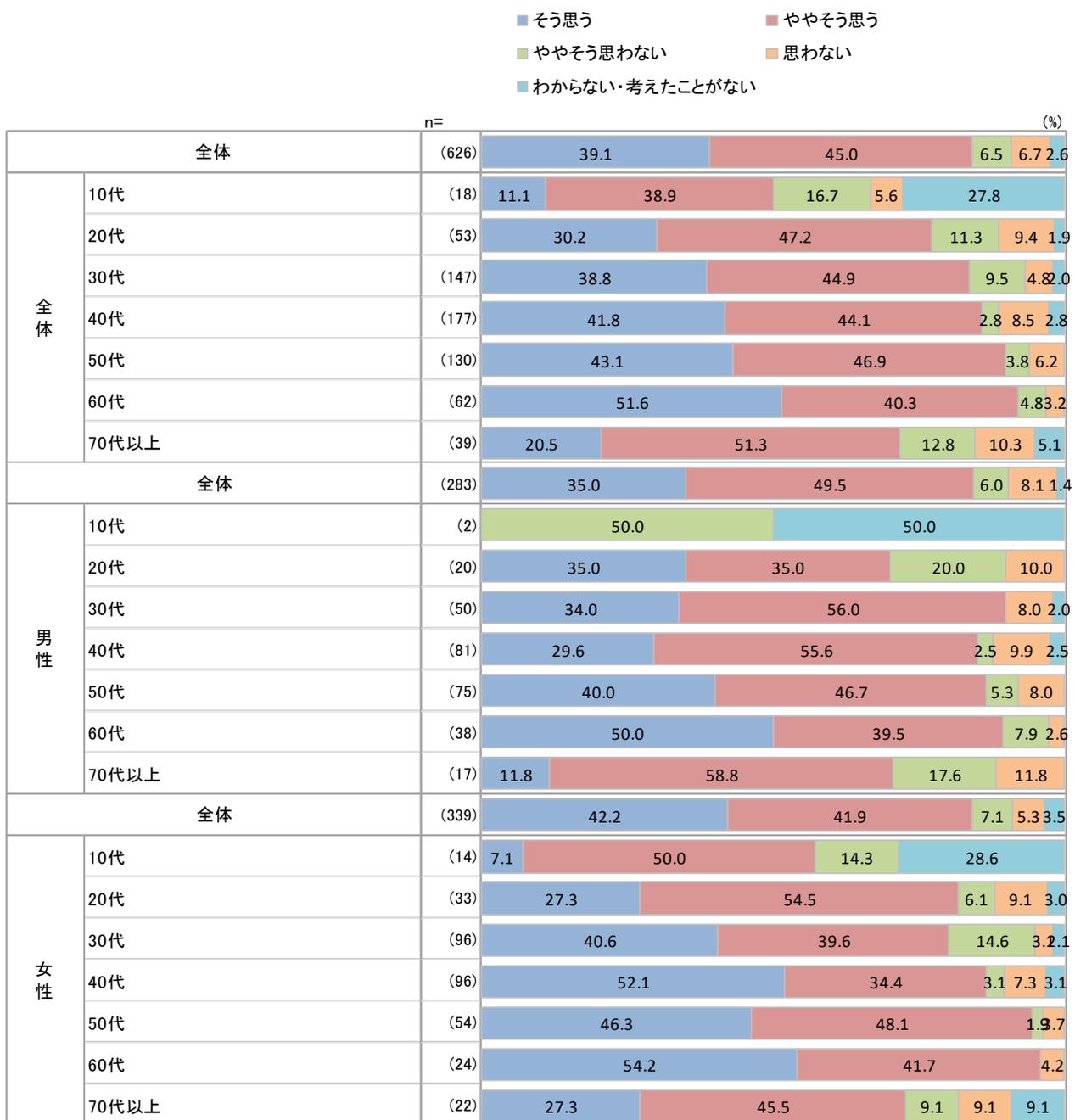
社会や職場、家庭において男女間の差を感じているか(男女／年代別)

(対象:全体)

●男女間の差を感じることはあるか？

社会や職場、家庭において「女性だから、男性だからこうあるべき」という決めつけや、固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習などによる男女間の差を感じていると回答した人は84%(そう思う39%・ややそう思う45%)。

普段の生活で、女性だから、男性だからこうあるべきという決めつけや 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習などによる男女間の差を感じることはありますか。



2 性別役割分担意識

社会や職場、家庭でどのような「男女差」を感じるか？

(対象:全体)

●社会や職場、家庭において感じる「男女差」ランキング(男女別)

社会や職場、家庭において感じる「男女差」は、男性が社会(地域)における「法事や祝い事等における役割分担」が51%と最も高いのに対し、女性は家庭における「仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい」が67%と最も高い。

男女ともに上位10位に入っている項目

	男性上位10項目 (n=283)	%
1	【社会】法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている	51.2
2	【家庭】男性は家庭よりも仕事を優先している	48.8
3	【家庭】男性は家族を養うべきである(稼ぎ頭である)という考え方がある	45.2
4	【職場】男性は基幹的な業務やリーダーを、女性は補助的な業務を担っている	43.8
5	【家庭】女性は仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい	38.9
6	【社会】地域での役割が男女で決まっている(会合などの意思決定に参加するのは男性が中心、清掃活動や福祉活動は女性が中心など)	38.9
7	【職場】職場での職務の割り振りや、昇進などの機会に男女間の差がある	36.7
8	【社会】男性が「地域活動」を担っている	35.7
9	【職場】男女間の賃金差、雇用形態の差がある	31.4
10	【家庭】女性は家庭を守るべきである(家事・育児・介護等)という考え方がある	28.6

	女性上位10項目(n=339)	%
1	【家庭】女性は仕事と家事・育児・介護等の両立が難しい	67.3
2	【社会】法事や祝い事などでの親族・親戚等との交流時に役割が男女で決まっている	60.2
3	【家庭】男性は家庭よりも仕事を優先している	50.7
4	【家庭】女性は家庭を守るべきである(家事・育児・介護等)という考え方がある	49.6
5	【社会】地域での役割が男女で決まっている(会合などの意思決定に参加するのは男性が中心、清掃活動や福祉活動は女性が中心など)	46.0
6	【職場】男性は基幹的な業務やリーダーを、女性は補助的な業務を担っている	44.0
7	【家庭】男性は家族を養うべきである(稼ぎ頭である)という考え方がある	41.6
8	【家庭】女性は仕事よりも家庭を優先している	41.6
9	【職場】職場でのお茶出しは主に女性が担っている	38.6
10	【社会】女性ならではの生きづらさがある(女性だからあきらめたことがある)	38.3

2 性別役割分担意識

性別役割分担意識について

(対象:全体)

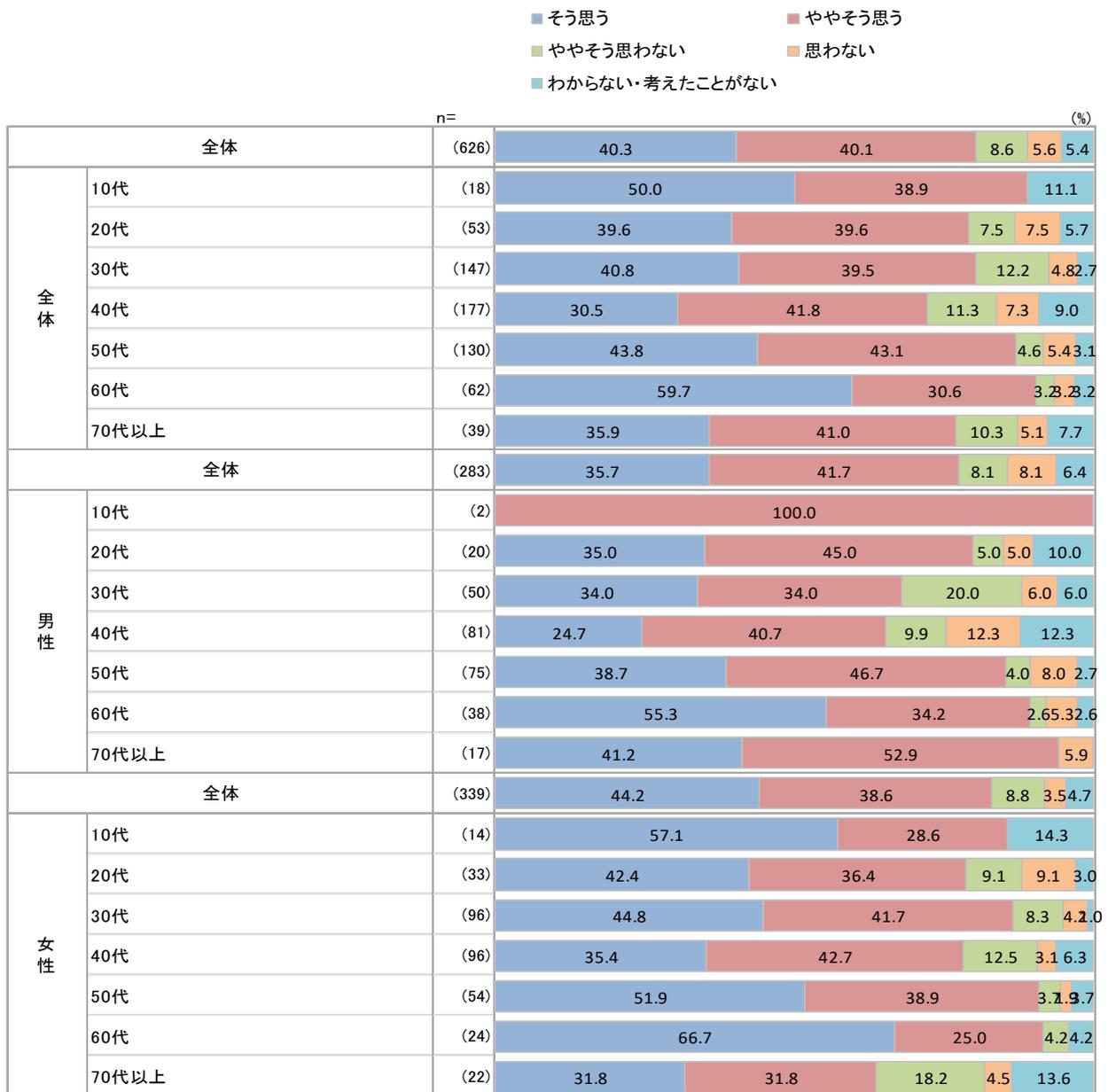
●固定的な性別役割分担をなくす必要があると思いますか。

全体で80%がそう思う(「そう思う」(40%) + 「ややそう思う」(40%))と回答。

世代別では、「40代」は「そう思う」(31%)がやや低く、「60代」は「そう思う」(60%)が高い。

性別では、男性(77%)・女性(83%)と、女性のほうが固定的な性別役割分担意識をなくす必要性を感じている人が多い。

固定的な性別役割分担をなくす必要があると思いますか。

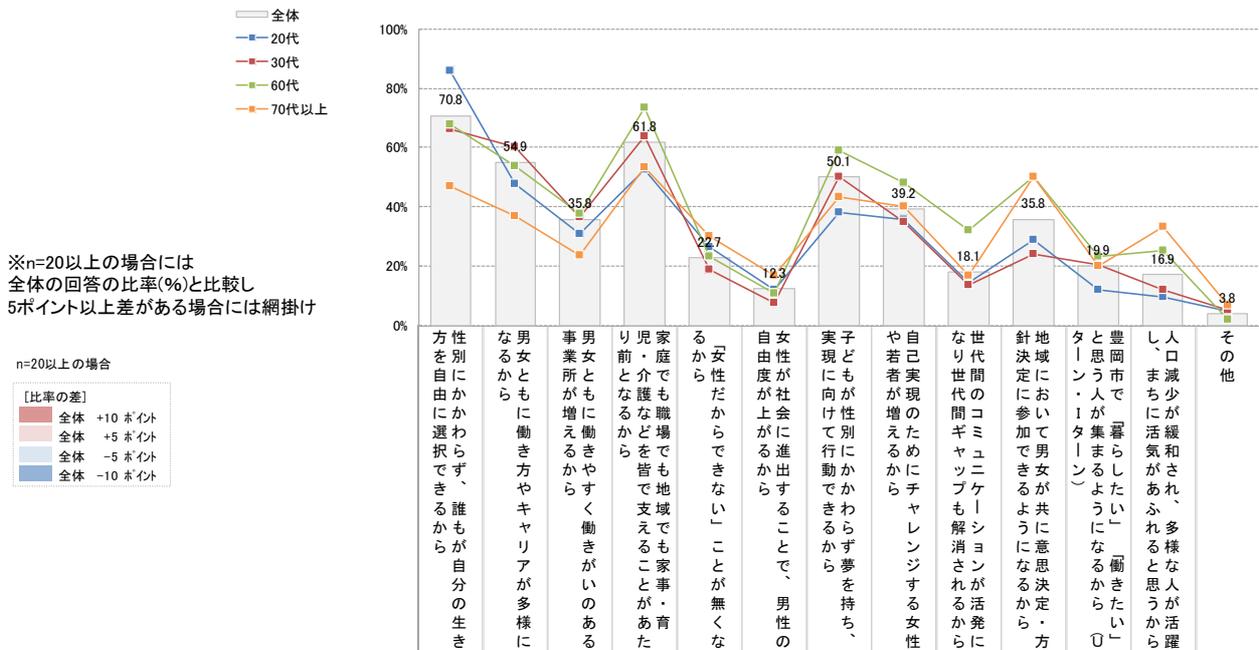


2 性別役割分担意識 性別役割分担意識について

(対象:全体)

● 固定的な性別役割分担をなくすべきと考える人の理由

「性別にかかわらず、誰もが自分の生き方を自由に選択できるから」が71%と最も高く、次いで「家庭でも職場でも地域でも家事・育児・介護などを皆で支えることがあたり前となるから」(62%)「男女ともに働き方やキャリアが多様になるから」(55%)「子どもが性別にかかわらず夢を持ち、実現に向けて行動できるから」(50%)「自己実現のためにチャレンジする女性や若者が増えるから」(39%)の順である。



【表例1】性別
【表例2】Q2年齢

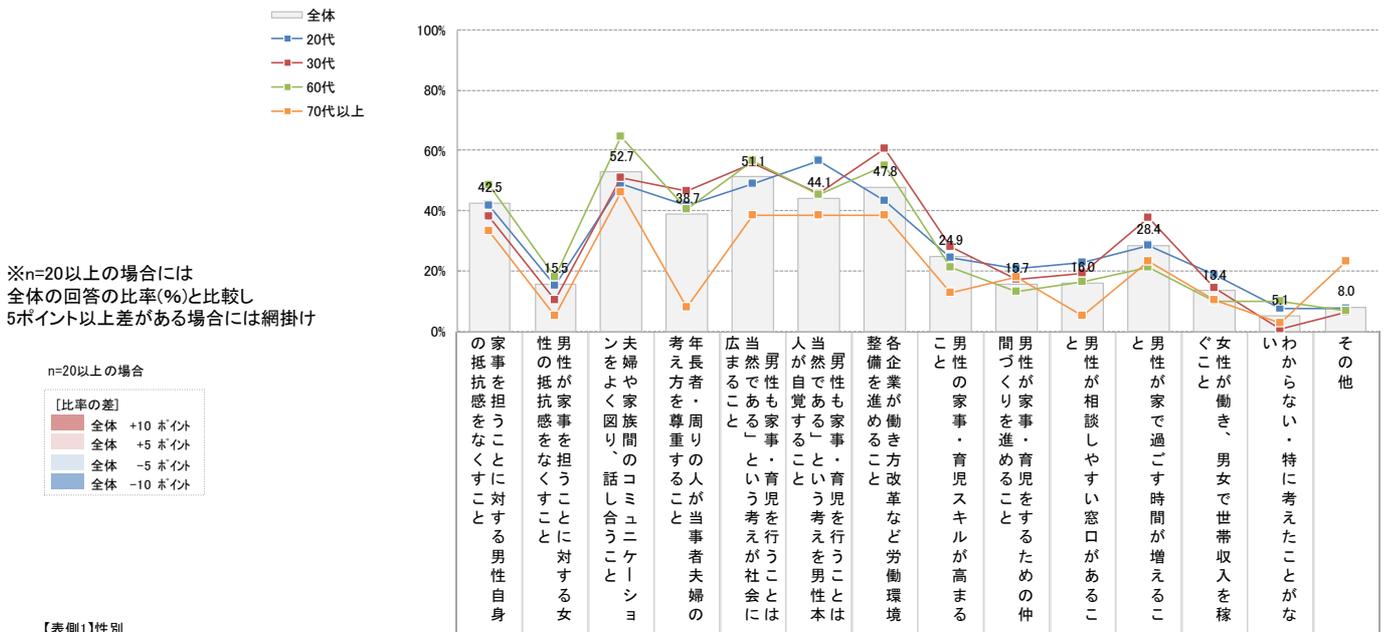
		n=	性別にかかわらず、誰もが自分の生き方を自由に選択できるから	男女ともに働き方やキャリアが多様になるから	男女ともに働きやすくなるから	家庭でも職場でも地域でも家事・育児・介護などを皆で支えることがあたり前となるから	「女性だからできない」ことが無くなるから	女性が社会に進出することで、男性の自由度が上がるから	子どもが性別にかかわらず夢を持ち、実現に向けて行動できるから	自己実現のためにチャレンジする女性や若者が増えるから	世代間のコミュニケーションが活発になり世代間ギャップも解消されるから	地域において男女が共に意思決定・方針決定に参加できるようになるから	豊岡市で「暮らしたい」「働きたい」と思う人が集まるようになるから	人口減少が緩和され、多様な人が活躍し、まちに活気があふれると思うから	その他
全体		(503)	70.8	54.9	35.8	61.8	22.7	12.3	50.1	39.2	18.1	35.8	19.9	16.9	3.8
全体	10代	(16)	75.0	25.0	56.3	37.5	31.3	25.0	31.3	18.8	0.0	6.3	6.3	12.5	12.5
	20代	(42)	85.7	47.6	31.0	52.4	26.2	11.9	38.1	35.7	14.3	28.6	11.9	9.5	4.8
	30代	(118)	66.1	60.2	36.4	63.6	18.6	7.6	50.0	34.7	13.6	23.7	20.3	11.9	5.1
	40代	(128)	75.0	58.6	33.6	63.3	22.7	12.5	54.7	39.8	17.2	36.7	26.6	18.8	1.6
	50代	(113)	72.6	57.5	38.9	61.9	22.1	15.0	49.6	42.5	21.2	43.4	15.0	15.0	3.5
	60代	(56)	67.9	53.6	37.5	73.2	23.2	10.7	58.9	48.2	32.1	50.0	23.2	25.0	1.8
	70代以上	(30)	46.7	36.7	23.3	53.3	30.0	16.7	43.3	40.0	16.7	50.0	20.0	33.3	6.7
全体		(219)	72.1	52.1	33.3	54.3	20.5	13.2	41.6	32.4	19.2	41.1	20.5	18.3	2.7
男性	10代	(2)	100.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	20代	(16)	87.5	25.0	12.5	18.8	12.5	6.3	12.5	18.8	12.5	18.8	12.5	12.5	6.3
	30代	(34)	73.5	52.9	38.2	44.1	11.8	8.8	38.2	23.5	0.0	26.5	20.6	8.8	2.9
	40代	(53)	69.8	52.8	28.3	56.6	22.6	15.1	39.6	28.3	18.9	37.7	28.3	15.1	1.9
	50代	(64)	76.6	54.7	42.2	60.9	25.0	14.1	48.4	34.4	21.9	46.9	14.1	14.1	1.6
	60代	(34)	67.6	61.8	29.4	67.6	23.5	11.8	52.9	50.0	38.2	55.9	26.5	32.4	0.0
	70代以上	(16)	50.0	37.5	31.3	43.8	18.8	25.0	37.5	31.3	18.8	56.3	12.5	43.8	6.3
全体		(281)	70.1	57.3	37.7	68.0	23.8	11.4	56.9	44.8	17.4	31.7	19.6	16.0	3.9
女性	10代	(12)	75.0	8.3	58.3	25.0	33.3	25.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	20代	(26)	84.6	61.5	42.3	73.1	34.6	15.4	53.8	46.2	15.4	34.6	11.5	7.7	3.8
	30代	(83)	63.9	63.9	36.1	72.3	20.5	7.2	55.4	39.8	19.3	22.9	20.5	13.3	4.8
	40代	(75)	78.7	62.7	37.3	68.0	22.7	10.7	65.3	48.0	16.0	36.0	25.3	21.3	1.3
	50代	(49)	67.3	61.2	34.7	63.3	18.4	16.3	51.0	53.1	20.4	38.8	16.3	16.3	6.1
	60代	(22)	68.2	40.9	50.0	81.8	22.7	9.1	68.2	45.5	22.7	40.9	18.2	13.6	4.5
	70代以上	(14)	42.9	35.7	14.3	64.3	42.9	7.1	50.0	50.0	14.3	42.9	28.6	21.4	7.1

2 性別役割分担意識 男性の家事・育児参画について

(対象:全体)

●男性の家事・育児参画を進めるために必要なこと

「夫婦や家族間のコミュニケーションをよく図り、話し合うこと」が53%と最も高く、次いで「男性も家事・育児を行うことは当然である」という考えが社会に広まること(51%)、「各企業が働き方改革など労働環境整備を進めること」(48%)、「男性も家事・育児を行うことは当然である」という考えを男性本人が自覚すること(44%)、「家事を担うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(42%)の順である。



【表例1】性別
【表例2】Q2年齢

		n=	の抵抗感をなくすこと	男性が家事を担うことに対する抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間のコミュニケーションをよく図り、話し合うこと	年長者・周りの人が当事者夫婦の考え方を尊重すること	広まること	当然である」という考えが社会に	男性も家事・育児を行うことは当然である」という考えを男性本人が自覚すること	男性も家事・育児を行うことは当然である」という考えを男性本人が自覚すること	各企業が働き方改革など労働環境整備を進めること	各企業が働き方改革など労働環境整備を進めること	男性の家事・育児スキルが高まること	男性が家事・育児を進めるための仲間づくりを進めること	男性が相談しやすい窓口があること	男性が家で過ごす時間が増えること	女性が働き、男女で世帯収入を稼ぐこと	わからない・特に考えたことがない	その他
全体		(626)	42.5	15.5	52.7	38.7	51.1	44.1	47.8	24.9	15.7	16.0	28.4	13.4	5.1	8.0			
全体	10代	(18)	44.4	16.7	44.4	11.1	22.2	27.8	27.8	16.7	11.1	22.2	22.2	0.0	38.9	5.6			
	20代	(53)	41.5	15.1	49.1	41.5	49.1	56.6	43.4	24.5	20.8	22.6	28.3	18.9	7.5	7.5			
	30代	(147)	38.1	10.2	51.0	46.3	55.8	45.6	60.5	27.9	17.0	19.0	37.4	14.3	0.7	6.1			
	40代	(177)	41.2	15.8	52.0	39.0	53.7	44.1	46.3	28.2	14.1	18.1	28.2	14.7	5.1	7.9			
	50代	(130)	49.2	23.1	54.6	40.8	48.5	40.8	39.2	23.8	15.4	9.2	24.6	13.1	3.1	6.9			
	60代	(62)	48.4	17.7	64.5	40.3	56.5	45.2	54.8	21.0	12.9	16.1	21.0	9.7	9.7	6.5			
	70代以上	(39)	33.3	5.1	46.2	7.7	38.5	38.5	38.5	12.8	17.9	5.1	23.1	10.3	2.6	23.1			
全体		(283)	37.1	14.5	47.0	25.1	38.5	30.7	41.0	18.4	10.6	10.2	26.5	10.2	5.3	9.2			
男性	10代	(2)	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0			
	20代	(20)	25.0	10.0	25.0	30.0	30.0	40.0	35.0	20.0	20.0	15.0	20.0	15.0	20.0	10.0			
	30代	(50)	30.0	10.0	42.0	22.0	34.0	34.0	50.0	22.0	18.0	14.0	40.0	8.0	2.0	8.0			
	40代	(81)	33.3	12.3	37.0	22.2	35.8	24.7	35.8	16.0	7.4	9.9	23.5	11.1	3.7	11.1			
	50代	(75)	41.3	21.3	56.0	30.7	44.0	30.7	37.3	18.7	8.0	4.0	28.0	10.7	5.3	5.3			
	60代	(38)	50.0	18.4	71.1	34.2	47.4	36.8	50.0	23.7	10.5	18.4	23.7	10.5	5.3	5.3			
	70代以上	(17)	41.2	0.0	41.2	0.0	35.3	29.4	41.2	5.9	5.9	5.9	11.8	5.9	0.0	23.5			
全体		(339)	47.2	16.2	57.5	49.6	61.9	55.5	52.8	30.7	20.1	20.4	29.8	16.2	5.0	7.1			
女性	10代	(14)	42.9	7.1	35.7	7.1	28.6	28.6	14.3	21.4	14.3	21.4	21.4	0.0	42.9	0.0			
	20代	(33)	51.5	18.2	63.6	48.5	60.6	66.7	48.5	27.3	21.2	27.3	33.3	21.2	0.0	6.1			
	30代	(96)	42.7	10.4	56.3	58.3	66.7	52.1	65.6	31.3	16.7	21.9	36.5	17.7	0.0	5.2			
	40代	(96)	47.9	18.8	64.6	53.1	68.8	60.4	55.2	38.5	19.8	25.0	32.3	17.7	6.3	5.2			
	50代	(54)	61.1	25.9	53.7	53.7	55.6	55.6	40.7	31.5	25.9	14.8	18.5	16.7	0.0	9.3			
	60代	(24)	45.8	16.7	54.2	50.0	70.8	58.3	62.5	16.7	16.7	12.5	16.7	8.3	16.7	8.3			
	70代以上	(22)	27.3	9.1	50.0	13.6	40.9	45.5	36.4	18.2	27.3	4.5	31.8	13.6	4.5	22.7			

2 性別役割分担意識 男性の家事・育児参画について

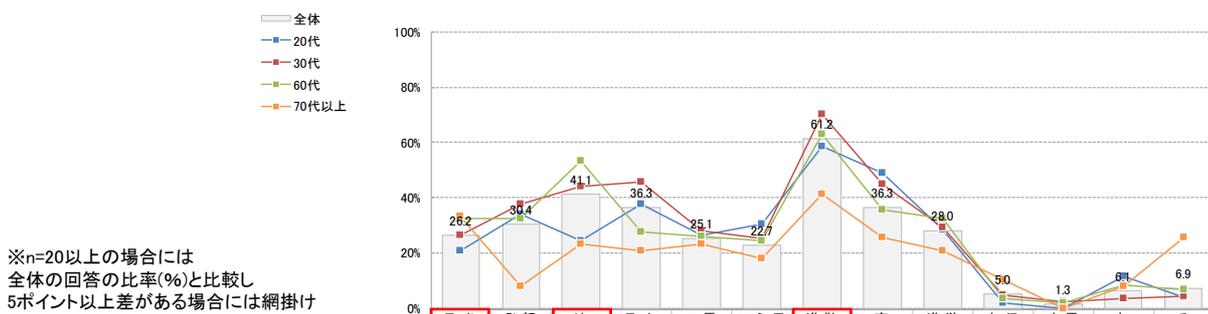
(対象:全体)

●男性の家事・育児参画を進めるために行政が取り組むべきこと

「勤務先の働き方改革推進」が61%と最も高く、次いで「地域に対する普及啓発」(41%)「上司・同僚に対する普及啓発」(36%)「育休制度の義務化」(36%)「親世代に対する普及啓発」(30%)の順である。

年代別では、「30代」は「勤務先の働き方改革推進」(70%)、「上司・同僚に対する普及啓発」(46%)、「育休制度の義務化」(45%)、「親世代に対する普及啓発」(37%)がやや高い。「60代」は「地域に対する普及啓発」(53%)が高い。「50代」(34%)・「60代」(32%)・「70代」(33%)は「当事者夫婦に対する普及啓発」がやや高い。

あなたは男性の家事・育児参画を進めるために行政が取り組むべきことは何だと思いませんか。



※n=20以上の場合には
全体の回答の比率(%)と比較し
5ポイント以上差がある場合には網掛け

n=20以上の場合

全体 +10 ポイント
全体 +5 ポイント
全体 -5 ポイント
全体 -10 ポイント

【表例1】性別

【表例2】Q2年齢

		n=	26.2	30.4	41.1	36.3	25.1	22.7	61.2	36.3	28.0	5.0	1.3	6.1	6.9
全体	全体	(626)	26.2	30.4	41.1	36.3	25.1	22.7	61.2	36.3	28.0	5.0	1.3	6.1	6.9
	10代	(18)	11.1	22.2	16.7	22.2	22.2	22.2	44.4	33.3	33.3	0.0	5.6	33.3	5.6
	20代	(53)	20.8	34.0	24.5	37.7	26.4	30.2	58.5	49.1	28.3	1.9	0.0	11.3	3.8
	30代	(147)	26.5	37.4	44.2	45.6	27.9	25.2	70.1	44.9	29.3	4.8	2.0	3.4	4.1
	40代	(177)	19.8	29.9	44.1	39.0	23.7	23.2	61.0	36.2	27.1	6.2	1.7	4.5	7.9
	50代	(130)	33.8	28.5	43.1	32.3	23.8	16.9	60.0	25.4	26.9	4.6	0.0	3.8	4.6
	60代	(62)	32.3	32.3	53.2	27.4	25.8	24.2	62.9	35.5	32.3	3.2	1.6	8.1	6.5
	70代以上	(39)	33.3	7.7	23.1	20.5	23.1	17.9	41.0	25.6	20.5	10.3	0.0	7.7	25.6
男性	全体	(283)	25.4	20.8	37.8	28.3	20.8	10.2	55.5	31.4	18.4	8.1	1.8	5.3	7.4
	10代	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0
	20代	(20)	25.0	20.0	25.0	40.0	20.0	15.0	35.0	45.0	20.0	5.0	0.0	20.0	10.0
	30代	(50)	18.0	22.0	36.0	36.0	26.0	6.0	68.0	50.0	12.0	10.0	4.0	6.0	2.0
	40代	(81)	12.3	19.8	37.0	33.3	12.3	11.1	55.6	28.4	16.0	11.1	2.5	1.2	9.9
	50代	(75)	34.7	20.0	38.7	21.3	22.7	9.3	54.7	25.3	22.7	5.3	0.0	4.0	5.3
	60代	(38)	34.2	31.6	52.6	23.7	28.9	15.8	60.5	26.3	23.7	5.3	0.0	5.3	7.9
	70代以上	(17)	52.9	5.9	29.4	11.8	23.5	5.9	35.3	17.6	11.8	11.8	0.0	5.9	11.8
女性	全体	(339)	27.1	38.1	44.0	43.4	28.6	33.0	65.5	40.4	35.7	2.4	0.9	6.8	6.5
	10代	(14)	14.3	28.6	21.4	28.6	28.6	28.6	35.7	35.7	28.6	0.0	0.0	35.7	0.0
	20代	(33)	18.2	42.4	24.2	36.4	30.3	39.4	72.7	51.5	33.3	0.0	0.0	6.1	0.0
	30代	(96)	31.3	44.8	49.0	51.0	29.2	35.4	70.8	42.7	37.5	2.1	1.0	2.1	5.2
	40代	(96)	26.0	38.5	50.0	43.8	33.3	33.3	65.6	42.7	36.5	2.1	1.0	7.3	6.3
	50代	(54)	33.3	38.9	48.1	48.1	24.1	25.9	66.7	25.9	33.3	3.7	0.0	3.7	3.7
	60代	(24)	29.2	33.3	54.2	33.3	20.8	37.5	66.7	50.0	45.8	0.0	4.2	12.5	4.2
	70代以上	(22)	18.2	9.1	18.2	27.3	22.7	27.3	45.5	31.8	27.3	9.1	0.0	9.1	36.4

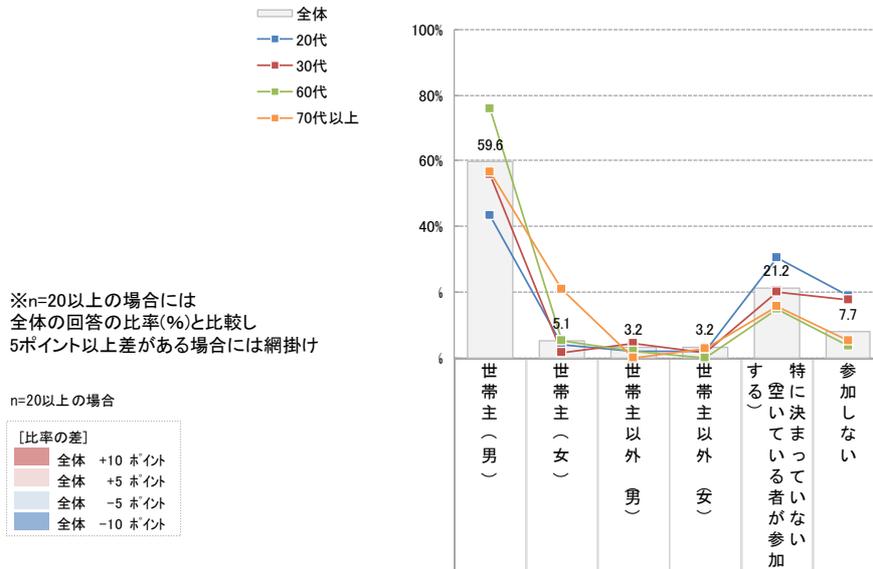
3 社会活動(地域行事や会合)の実態 会合参加の男女差

(対象:全体)

●地区の会合への参加

地区の会合に参加するのは、「世帯主(男)」が60%と最も高い。

地区の会合に主に参加する人は誰ですか。



【表側1】性別
【表側2】Q2年齢

		n=	世帯主(男)	世帯主(女)	世帯主以外(男)	世帯主以外(女)	空いている者が参加する	特に参加していない者	参加しない
全体		(626)	59.6	5.1	3.2	3.2	21.2	7.7	
全体	10代	(18)	33.3	11.1	0.0	0.0	38.9	16.7	
	20代	(53)	43.4	3.8	1.9	1.9	30.2	18.9	
	30代	(147)	55.8	1.4	4.1	1.4	19.7	17.7	
	40代	(177)	61.6	6.2	4.5	5.1	19.8	2.8	
	50代	(130)	64.6	3.1	3.1	5.4	23.8	0.0	
	60代	(62)	75.8	4.8	1.6	0.0	14.5	3.2	
	70代以上	(39)	56.4	20.5	0.0	2.6	15.4	5.1	
全体		(283)	74.9	1.4	3.2	0.0	14.1	6.4	
男性	10代	(2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	20代	(20)	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	
	30代	(50)	64.0	2.0	2.0	0.0	14.0	18.0	
	40代	(81)	79.0	2.5	3.7	0.0	11.1	3.7	
	50代	(75)	80.0	0.0	5.3	0.0	14.7	0.0	
	60代	(38)	84.2	2.6	2.6	0.0	7.9	2.6	
	70代以上	(17)	88.2	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	
全体		(339)	47.2	8.3	3.2	5.9	27.1	8.3	
女性	10代	(14)	35.7	14.3	0.0	0.0	35.7	14.3	
	20代	(33)	45.5	6.1	3.0	3.0	24.2	18.2	
	30代	(96)	52.1	1.0	5.2	2.1	22.9	16.7	
	40代	(96)	46.9	9.4	5.2	9.4	27.1	2.1	
	50代	(54)	42.6	7.4	0.0	13.0	37.0	0.0	
	60代	(24)	62.5	8.3	0.0	0.0	25.0	4.2	
	70代以上	(22)	31.8	36.4	0.0	4.5	22.7	4.5	

3 社会活動(地域行事や会合)の実態

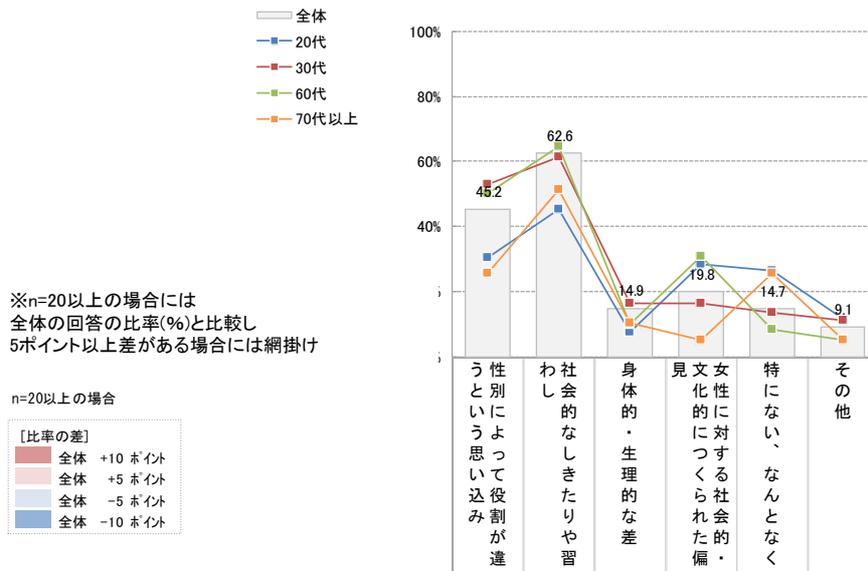
男女差がある理由

(対象:全体)

●地区の会合への参加

男女の差の原因は、「社会的なしきたりや習わし」が63%と最も高く、次いで「性別によって役割が違う」という思い込み(45%)の順。

地域行事や会合に参加する男女の割合に差があると言われますが、その原因は何だと思えますか。



【表側1】性別		【表側2】Q2年齢		n=						
		全体	n	性別によって役割が違う	社会的なしきたりや習わし	身体的・生理的な差	見文女性的に對する社会的偏見	特になく、なんとなく	その他	
全体	全体	(626)		45.2	62.6	14.9	19.8	14.7	9.1	
	10代	(18)		33.3	38.9	11.1	27.8	22.2	11.1	
	20代	(53)		30.2	45.3	7.5	28.3	26.4	11.3	
	30代	(147)		53.1	61.2	16.3	16.3	13.6	10.9	
	40代	(177)		43.5	68.4	16.9	19.2	14.7	10.2	
	50代	(130)		50.0	69.2	17.7	19.2	10.0	7.7	
	60代	(62)		50.0	64.5	9.7	30.6	8.1	4.8	
	70代以上	(39)		25.6	51.3	10.3	5.1	25.6	5.1	
男性	全体	(283)		45.9	59.4	15.2	15.5	15.9	9.5	
	10代	(2)		100.0	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	
	20代	(20)		35.0	40.0	0.0	30.0	35.0	5.0	
	30代	(50)		42.0	62.0	12.0	14.0	14.0	8.0	
	40代	(81)		45.7	61.7	21.0	13.6	16.0	13.6	
	50代	(75)		53.3	58.7	17.3	10.7	10.7	10.7	
	60代	(38)		47.4	71.1	13.2	26.3	7.9	2.6	
	70代以上	(17)		29.4	35.3	5.9	5.9	41.2	5.9	
女性	全体	(339)		44.8	65.2	14.5	23.0	13.9	8.6	
	10代	(14)		21.4	28.6	7.1	21.4	28.6	0.0	
	20代	(33)		27.3	48.5	12.1	27.3	21.2	15.2	
	30代	(96)		59.4	60.4	18.8	17.7	13.5	12.5	
	40代	(96)		41.7	74.0	13.5	24.0	13.5	7.3	
	50代	(54)		46.3	83.3	16.7	29.6	9.3	3.7	
	60代	(24)		54.2	54.2	4.2	37.5	8.3	8.3	
	70代以上	(22)		22.7	63.6	13.6	4.5	13.6	4.5	

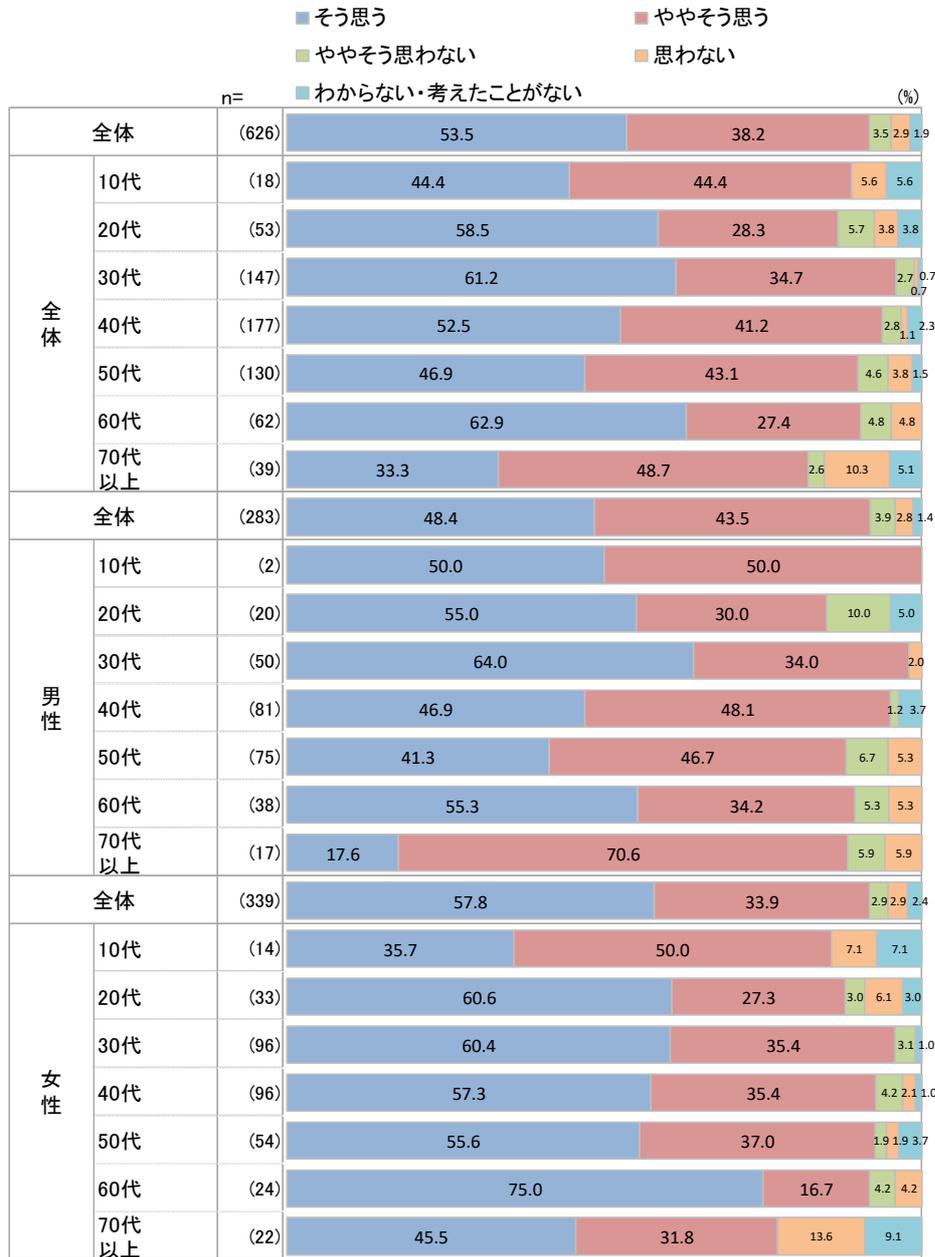
4 世代間の価値観の違い 学生の「男性育休」取得意向は100%

(対象:全体)

●世代間の価値観の違い

普段の生活で世代間での価値観の違いを感じるのは92% (そう思う(54%) + ややそう思う(38%))。

普段の生活で世代間での価値観の違いを感じる事がありますか。



●学生の「男性育休」取得意向 (対象: 職業で「学生」を選択した人)

将来子どもをもった場合、「育休を取得したい(取得して欲しい)」が100%。

■ 育休を取得したい(取得して欲しい)
■ 育休を取得したくない(取得して欲しくない)

性別	性	n	育休を取得したい(取得して欲しい) (%)	育休を取得したくない(取得して欲しくない) (%)
全体	全体	20	100.0	0.0
性別	男性	3	100.0	0.0
	女性	15	100.0	0.0

※男性・女性の比較をする際、「その他」を選択した人のデータは全体データに含まれる。

(参考)介護の実態

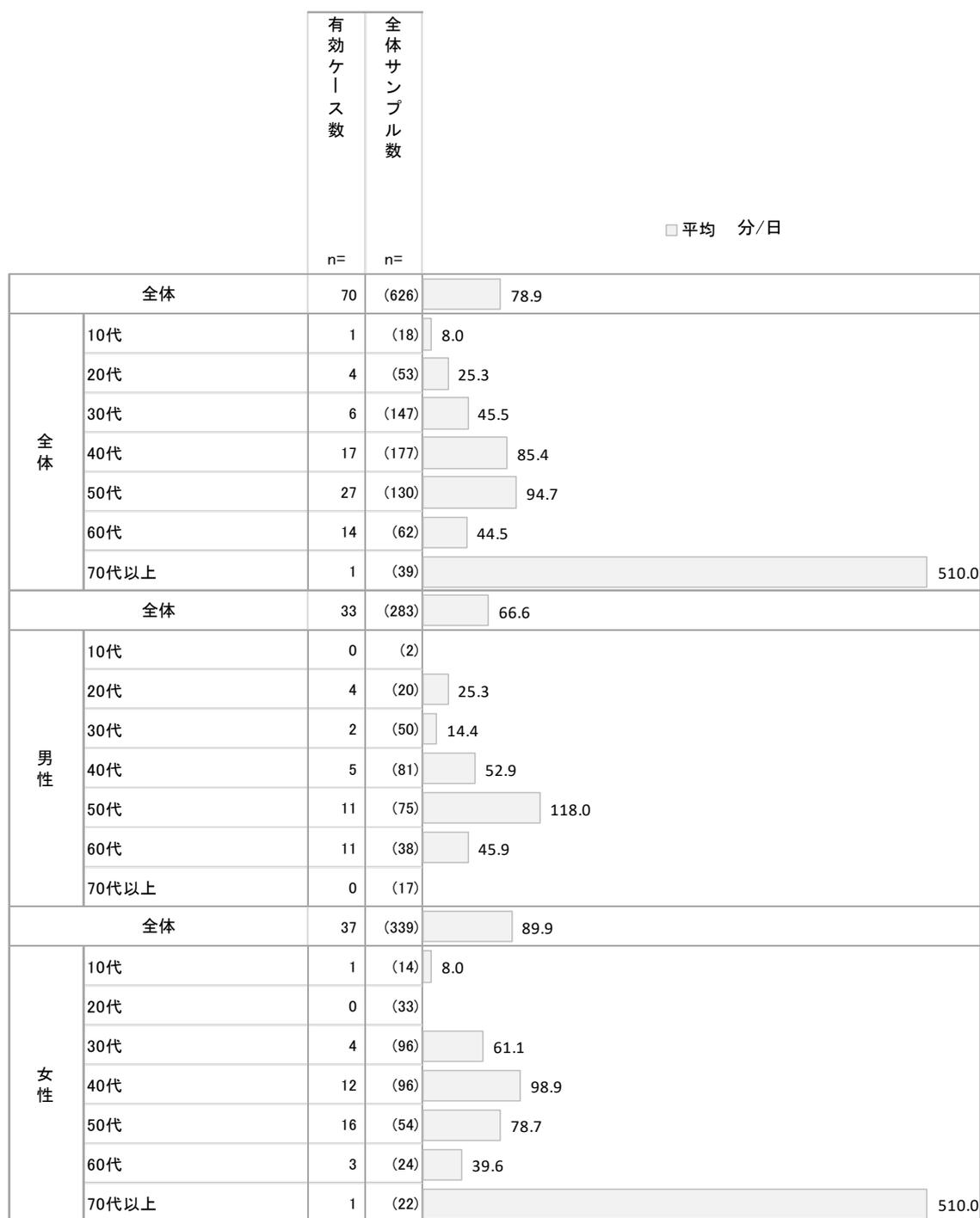
●介護時間(平日・土日の平均)

介護に関わる時間は、対象となる家族がいるかによって時間が大きく異なるため、実施者のみに絞って集計。

全体サンプル数626のうち、対象は70。

男性67分、女性90分とやや女性が多い。年代別では40代・50代が多い。

※70代は有効ケース1のため参考値



(参考)調査の見方(集計ロジック/定義等)

- (1)n は、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。
(2)集計は、小数点第二位を四捨五入しているため、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
(3)回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問については、全ての比率を合計すると 100.0%を超える場合がある。

(4)家事・育児・介護時間の集計ロジック

- ・回答者は「① 0分」、「② 1～15分 未満」、「③ 15～30分 未満」等の枠より当てはまるものを選択する。
- 各サンプルの家事・育児・介護時間の算出は、各選択枠の中間値(例:① 0分、② 8分、③ 22.5分)を取る。

(各選択肢の中間値)

	選択肢	中間値
①	0分	0分
②	1～15分未満	8分
③	15～30分未満	22.5分
④	30～45分未満	37.5分
⑤	45～60分未満	52.5分
⑥	1時間～1.5時間未満	75分
⑦	1.5時間～2時間未満	105分
⑧	2時間～2.5時間未満	135分
⑨	2.5時間～3時間未満	165分
⑩	3時間～3.5時間未満	195分
⑪	3.5時間～4時間未満	225分
⑫	4時間～4.5時間未満	255分
⑬	4.5時間～5時間未満	285分
⑭	5時間～6時間未満	330分
⑮	6時間～7時間未満	390分
⑯	7時間～8時間未満	450分
⑰	8時間以上	510分

(5)仕事に関わる非在宅時間の集計ロジック

- ・回答者は「家を出る時間」「家につく時間」で当てはまるものを選択する。
- ・各サンプルにおいて、中間値を取る。
- ・「家につく時間」から「家を出る時間」をひいて算出する。時間が不明な方は除く。

(6)「家事」「育児」「介護」の定義

- ・調査内での家事・育児・介護には、以下が含まれる。

【家事】

炊事、食事の後片付け、掃除、洗濯、ゴミ出し、買い物、家計の管理、名もなき家事

【育児(高校生までの子ども対象)】

寝かしつけ、風呂、着替え・身支度、トイレ・おむつ替え、離乳食・幼児食・ミルクあげ、子どものお弁当作り
泣いたときにあやす、幼稚園・保育園・学校への送り、幼稚園・保育園・学校への迎え
子どもの発熱等による急なお迎え、幼稚園・保育園・学校とのやりとり、連絡帳・事務手続き
習い事・クラブ活動・塾などの送迎、子どもと遊ぶ、子どもに勉強を教える、看病・通院

【介護】

食事介助、入浴介助、清拭、排泄介助、歩行介助、更衣介助、体位変換、移乗介助